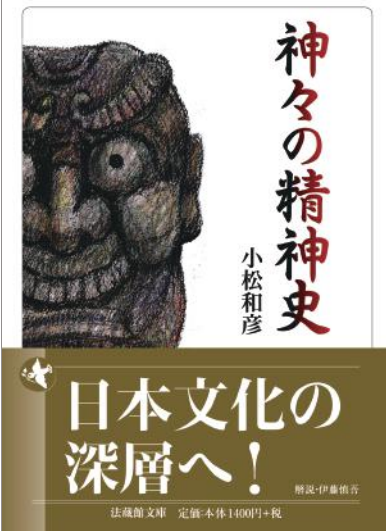


神々の精神史

こまつ かずひこ
小松和彦著

▼文庫判・並製カバ！432頁・定価一、五四〇円

2023年3月刊行



カミを語ることは日本人の精神の歴史を語ること。日本文化の深層に迫った、妖怪学の第一人者の処女論文集。妖怪学原点にして記念碑的名著。

【目次】

法蔵館版まえがき
序 神々の棲む村

I 民話的想像力について

民話的想像力とその背景——『江刺軍昔話』の世界を探る
神霊(かみ)の変装(やつし)と人間(ひと)の変装(やつし)
——昔話の構造論的素描
怪物退治と異類婚姻——『御伽草子』の構造分析
最後に笑う者——「物くさ太郎」に見る笑いとユーモア

II 民衆の思想について

根元神としての翁——猿楽の翁と稲荷の翁を中心に
世捨てと山中他界——山岳空間の認識論的構造
海上他界の思想——「うつぼ舟」を中心に
屍愛譚をめぐって——伊弉諾・伊弉冉二神の冥界譚を中心に
国占めと国譲りをめぐって——日本神話における占有儀礼

III 筑土鈴寛の世界

筑土鈴寛の民俗学——異端のフォークロア
日本的記述の方法——筑土鈴寛論拾遺
筑土鈴寛と超世の靈童——筑土鈴寛論補遺

旧版あとがき
増補新版あとがき
福武文庫版あとがき
初出一覧
法蔵館文庫版 解説(伊藤慎吾)
索引

◆著者・解説者略歴

小松和彦(こまつ かずひこ)

一九四七年東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程修了。専攻は文化人類学・民俗学。信州大学助教授、大阪大学教授、国際日本文化研究センター所長を歴任。現在、国際日本文化研究センター名誉教授。紫綬褒章、文化功労者。
著書に、『憑霊信仰論』『異人論』『妖怪文化入門』『妖怪学新考』『いざなぎ流の研究』『神なき時代の民俗学』『異界と日本人』『鬼と日本人』『聖地と日本人』『神になった日本人』など著書多数。

伊藤慎吾(いとう しんご)

一九七二年生まれ。國學院大学栃木短期大学日本文化学科准教授。専門はお伽草子研究。著書に『御伽草子超入門』『中世物語資料と近世社会』『擬人化と異類合戦の文芸史』など。

注文書		様冊	
(書店印)		ご担当	
小松和彦著		法蔵館	
神々の精神史		定価 一、五四〇円	
【法蔵館文庫】		住所	
ISBN: 978-4-8318-2645-9 C1139		お電話	
お名前		お名前	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗教・民俗学